

# 六甲アイランドまちの将来の姿

## 【今後のまちづくりの方向性】

2021年2月

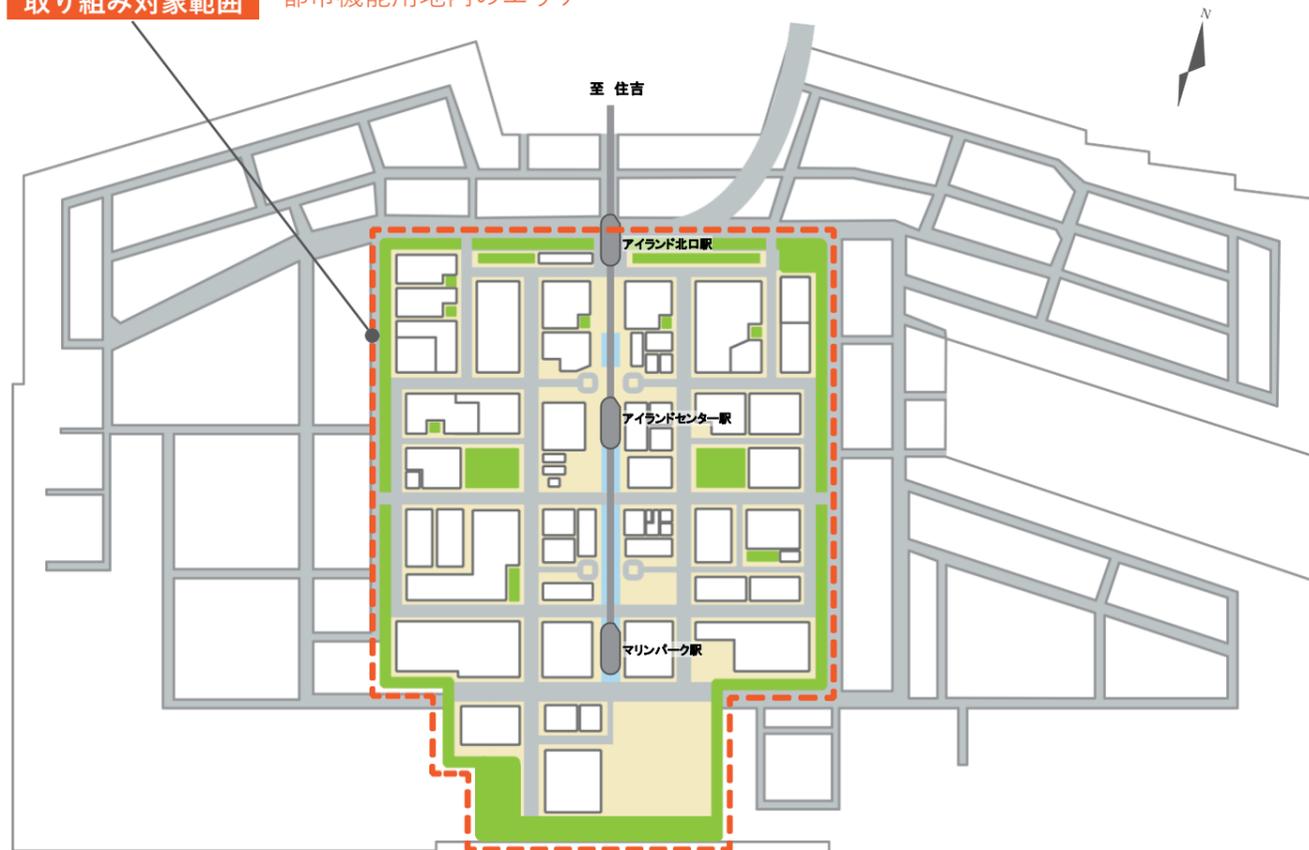
神戸市

# 六甲アイランドまちの将来の姿について

- 六甲アイランドは、ポートアイランドに続く第2の海上文化都市として、1988年3月にまちびらきをして以来、魅力ある多機能型複合都市を目指して、民間活力を導入しながら特色あるまちづくりを進めてきました。
- まちびらきの当初から現在に至るまでの間、阪神・淡路大震災やその後の社会経済情勢の変化等の影響を受けつつも、地域の住民や企業と行政が連携した弛まぬまちづくりの取り組みにより、2018年3月にまちびらき30周年を迎えました。
- 神戸市では、まちびらき30周年を契機に、今後の更なるまちの魅力向上や賑わい創出を目指し、今後のまちづくりの方向性を示す「まちの将来の姿」について検討することとしました。
- 本検討にあたっては、地域の代表者やまちづくりの専門家等の参画を得て、2018年7月に「六甲アイランドまちの将来像検討会」を立ち上げ議論を重ねてきました。
- 検討会では、まず六甲アイランドのまちとしての強み・弱み等の現状についてSWOT分析(※)を用いた整理を行うとともに、六甲アイランドの全世帯を対象としたアンケート調査結果も反映させたまちの現状の戦略分析(クロスSWOT分析(※))の結果を踏まえつつ、目指すべきまちの将来の姿として今後のまちづくりの方向性について幅広く議論いたしました。さらに、それらを実現するための取り組み方策のあり方についても検討しました。  
具体的な施設の規模や構成などについては、今後、取り組みの具体化にあわせ、関係者と協議の上、検討を進めていきます。
- なお、まちの将来の姿の実現に向けた具体的方策については、いくつかの取り組みを例示しましたが、今後、コロナ禍への対応など社会情勢の変化に柔軟に対応した新たな取り組みも含め、住民・企業・行政の連携・協調を一層図りながら、さらに検討を進めていきます。

(※)分析方法の詳細については、P.16「参考②」の「今後のまちづくりの方向性の検討手法」をご覧ください。

**取り組み対象範囲** 都市機能用地内のエリア



## まちの将来の姿の検討フロー

- 六甲アイランドのまちの将来の姿は、日常の生活利便性や住環境に着眼した「住もう」視点、まちの賑わいや非日常を体験できる環境づくり等に着眼した「集う」視点、島内での就業環境等に着眼した「働く」視点、さらには、まちづくり全体に関連する「全般的」視点の4つの視点を柱として、目指すべきまちづくりの方向性をとりまとめ示したものです。
  - なお、検討会では、これらのまちづくりの方向性を実現する具体的な取り組み例と、その主体や役割についても検討しました。
- ※今後、コロナの影響等によるライフスタイルの変化なども想定されますが、まちづくりを進めていく上では、社会情勢の変化にも十分留意するとともに、必要に応じてまちの将来の姿の見直し等も検証していきます。また、防災の観点については、以下の「まちの将来の姿」の基盤として取り組むべき内容であるため、今回の検討では含めていませんが、今後も引き続き、安全・安心なまちづくりを進めるため、必要な防災対策等を講じていきます。



# 六甲アイランドの現状（強み・弱み等）分析

※分析方法の詳細については、P16「参考②」の「今後のまちづくりの方向性の検討手法」をご覧ください。

六甲アイランドの将来の姿を検討するにあたっては、六甲アイランドのまちの「強み」・「弱み」とともに、社会を取り巻く経済情勢や環境等として「機会」・「脅威」についても整理し、それらを掛け合わせることでまちづくりの方向性を導き出しました。

特に、より重点的な取り組みの方向性として、「機会」を利用して「強み」をさらに強化する積極的な戦略と、弱みによって「機会」を逃さないよう「弱み」の影響を最小化する戦略について検討しました。

**外部環境**

**脅威**  
（マイナス要因）

**社会トレンド**

- 駅前・都心への住回帰
- 鉄道駅直結の大型商業施設の増加
- オフィスの都心集中
- 労働人口の不足

**近隣地域の動向・その他**

- 自然災害の増加  
(津波・高潮への対策要)
- 阪神間住居の競合
- オールドタウン化の進展

**外部環境**

**機会** = (プラス要因)

**社会トレンド**

- 都心に近い居住嗜好
- 働き方改革の推進
- 第4次産業革命 (IoT、AI等)
- キャッシュレス化の拡大
- SNSによる情報発信
- グローバル化の進展
- モノからコト、所有から使用
- 子育て環境の重点化
- 健康寿命の延伸  
(高齢者の活躍促進)

**広域立地**

- 大阪湾岸道路西伸部の整備
- 大阪ベイエリアの活況  
(関西での世界的イベントの開催等)

※「機会」と「強み」を掛け合わせる

※「機会」と「弱み」を掛け合わせる

**内部環境**

**強み** = (長所・魅力)

**環境**

- 魅力的なウォーターフロント空間
- 花・緑・水辺に囲まれた環境
- 平坦で広く、安全・安心な歩行者空間
- 高級感のある街並みや良好な景観

**施設**

- 充実した美術館等の文化施設とスポーツ施設
- 外国人向け住宅や学校
- ホテル、総合病院、大きな公園
- 多様な教育施設 (幼・小・中・高・専門学校・大)
- インキュベーション施設
- 需要が高い住宅 (低い空き家率)

**ひと・コミュニティ**

- 多種多様なコミュニティ活動
- 若年層の居住流入が多い  
(年齢構成バランスも良い)
- 街区の良好な維持管理
- 地域包括ケアシステムの取り組み

**立地**

- 職住近接
- 未利用地のまとまった土地
- 阪神間での地勢
- 島内事業所での就労機会 (主婦など)

**内部環境**

**弱み** = (短所・欠点)

**環境**

- 海・山を臨む環境が少ない
- 夜の賑わいが乏しい

**施設**

- 商業施設の撤退
- 生活利便施設の不足

**ひと・コミュニティ・その他**

- 島内での回遊性が低い  
(ホテル客、学生、就労者等)
- 来訪者の減少
- 六甲アイランドのブランドイメージが曖昧  
(世代によって違う)
- 地域資源の情報発信不足

**立地**

- 六甲ライナーの経済的・心理的負担が大きい
- アクセス交通が弱い  
(六甲大橋・六甲ライナーの輸送力)
- 関空・神戸空港へのアクセスが弱い

重点的な取り組みの方向性

**機会を利用して、強みをさらに強化する積極的な戦略**

重点的な取り組みの方向性

**弱みによって機会を逃さないよう弱みによる影響を最小化する戦略**

# 六甲アイランドの今後のまちづくりの方向性

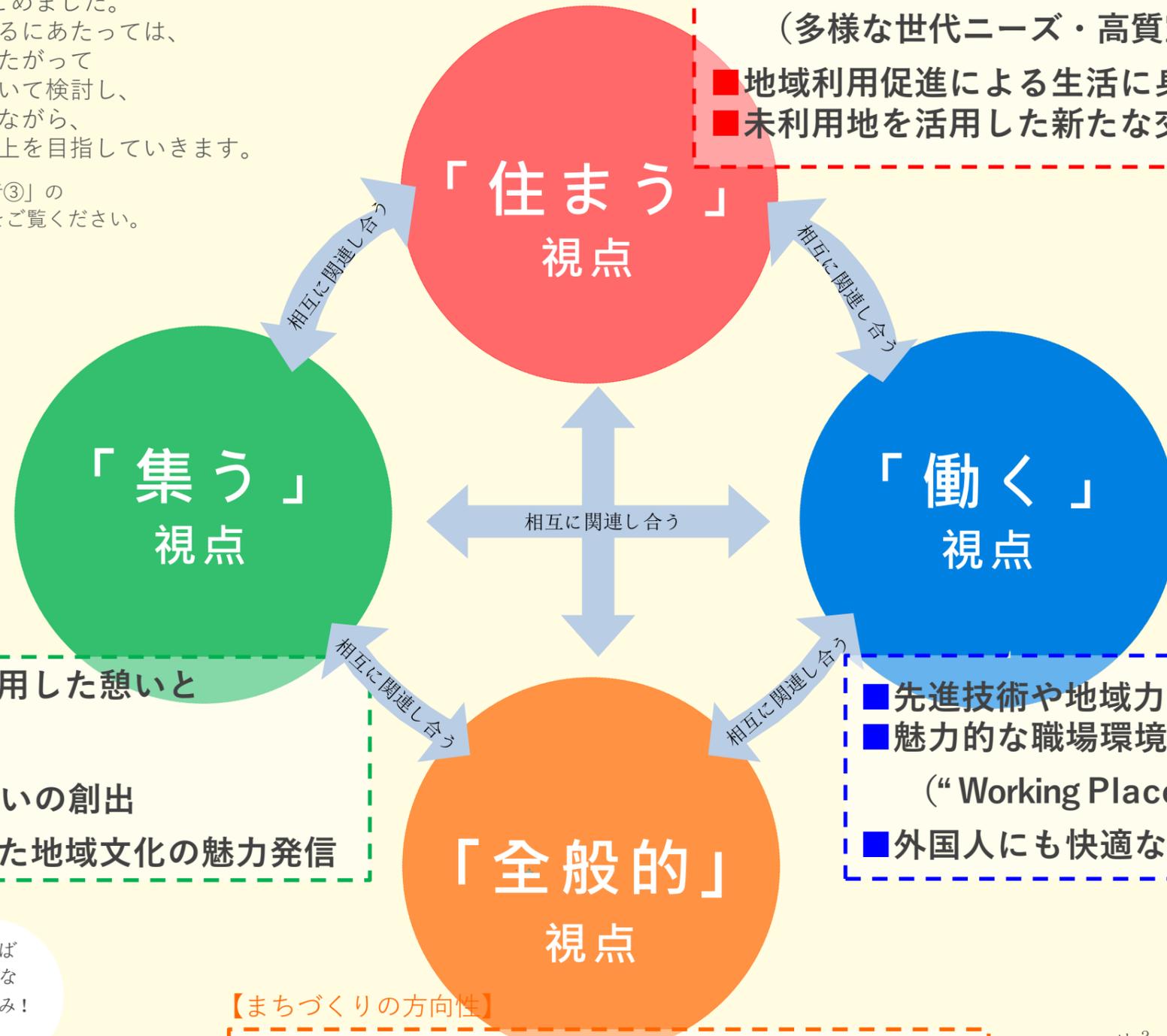
- 今後のまちづくりの方向性については、前頁で示した現状分析やアンケート調査結果による地域ニーズ等（※）を踏まえ、4つの視点を柱にしてとりまとめました。
- これらのまちづくりの方向性を実現するには、視点ごとの取り組みや複数の視点にまたがって相互に関連・補完し合う取り組みについて検討し、各取り組みによる相乗効果を生み出しながら、六甲アイランドの更なるまちの魅力向上を目指していきます。

※地域ニーズ等の詳細については、P17「参考③」の「今後のまちづくりの方向性の検討背景」をご覧ください。

## 【まちづくりの方向性】

- 子供から高齢者まで、誰もが住みやすいまちづくり  
(多様な世代ニーズ・高質空間の再構築への対応)
- 地域利用促進による生活に身近な商業・サービス機能の充実
- 未利用地を活用した新たな交流の場や多様な住まいの提供

実現するには?  
例えばこんな取り組み!  
▼  
P.7



## 【まちづくりの方向性】

- 先進技術や地域力を活かした新たなビジネスの育成
- 魅力的な職場環境の充実と情報発信の強化  
(“Working Place RI”のブランド構築)
- 外国人にも快適な就労環境の創出

実現するには?  
例えばこんな取り組み!  
▼  
P.7

## 【まちづくりの方向性】

- ウォーターフロント空間を活用した憩いと賑わいの場の創出
- 多様な人々の交流による賑わいの創出
- 文化、スポーツ施設を活かした地域文化の魅力発信

実現するには?  
例えばこんな取り組み!  
▼  
P.8

## 【まちづくりの方向性】

- 国際・地域交流都市としてのブランド力向上
- 日常と非日常を体感できるまちづくり
- スマートさと豊かなデザインを取り入れたチャレンジするまちづくり

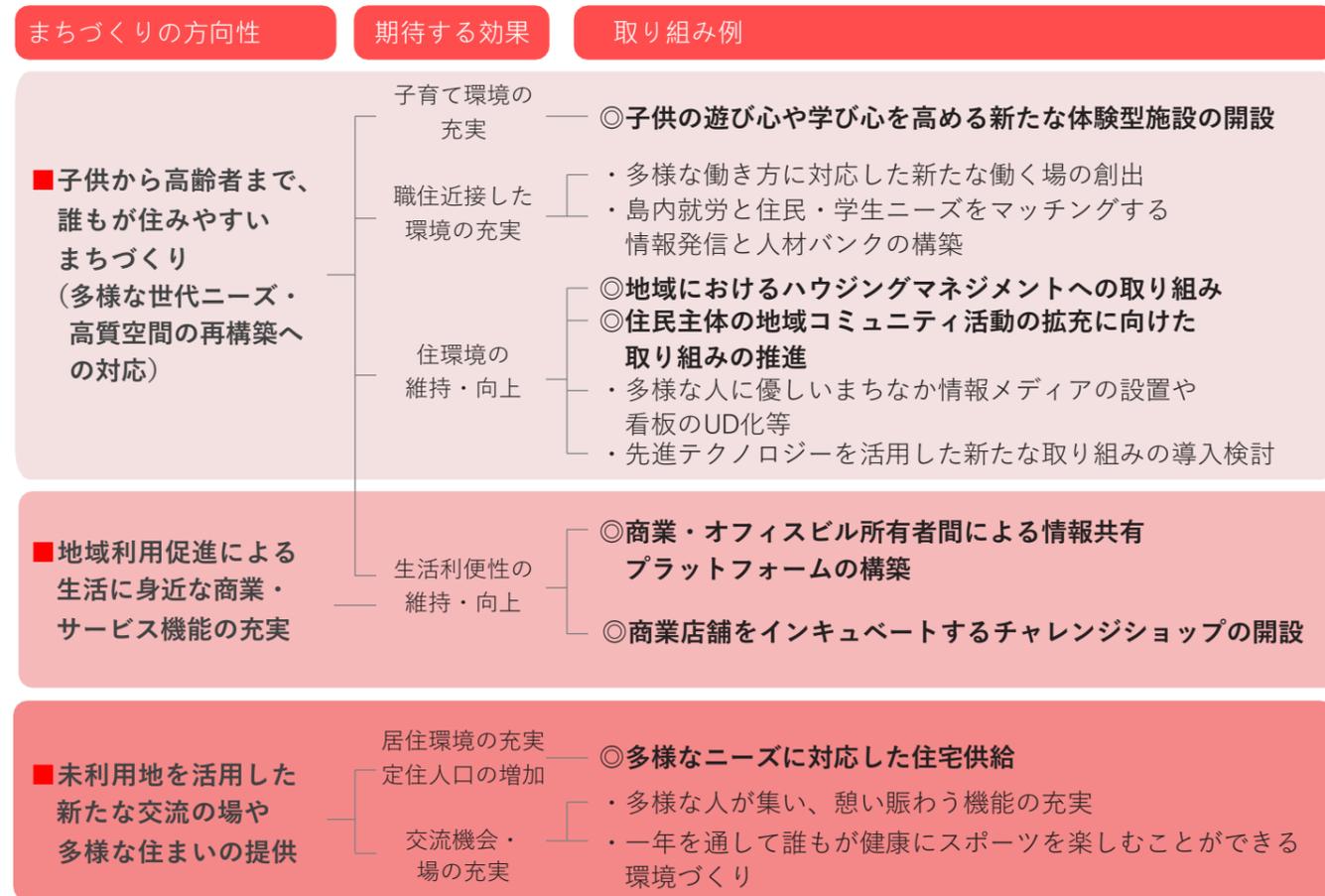
実現するには?  
例えばこんな取り組み!  
▼  
P.8

# 今後のまちづくりの取り組み例

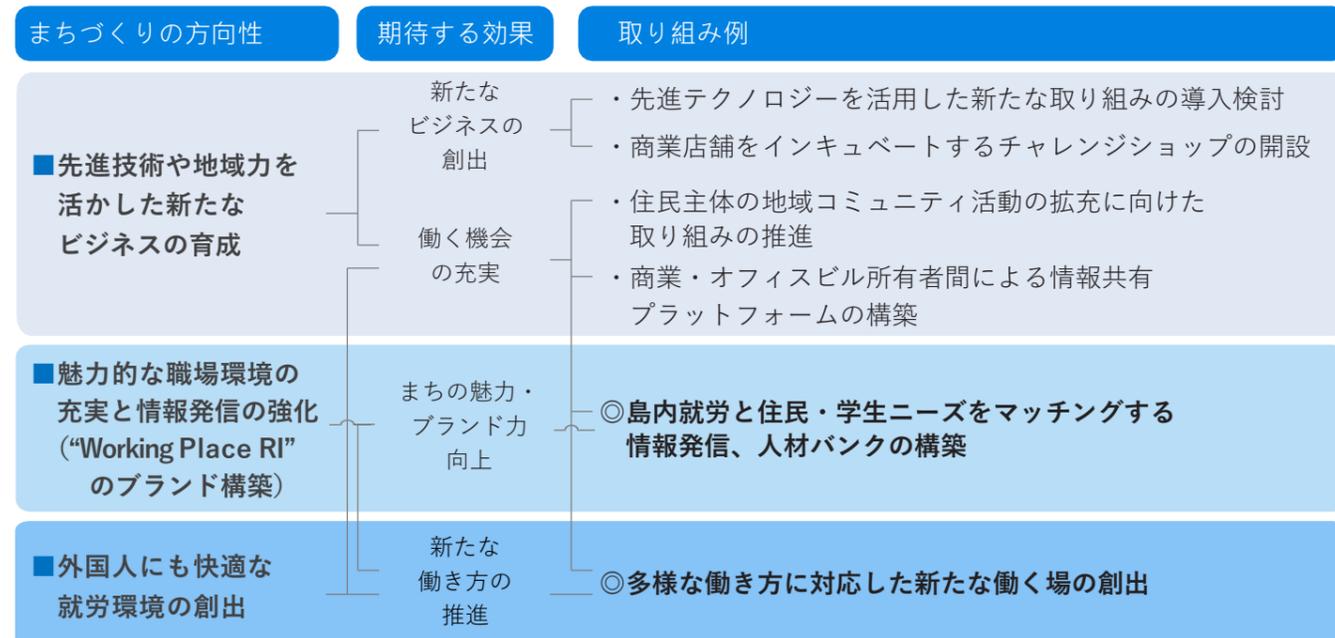
## 【今後のまちづくりの方向性と取り組み例の関連性】

今後のまちづくりの方向性を実現するための具体的な取り組み例について、それぞれの視点ごとに整理しました。なお、各視点の主たる取り組み例は◎太字で表記し、他の視点にも関連する取り組み例については重複して記載しています。

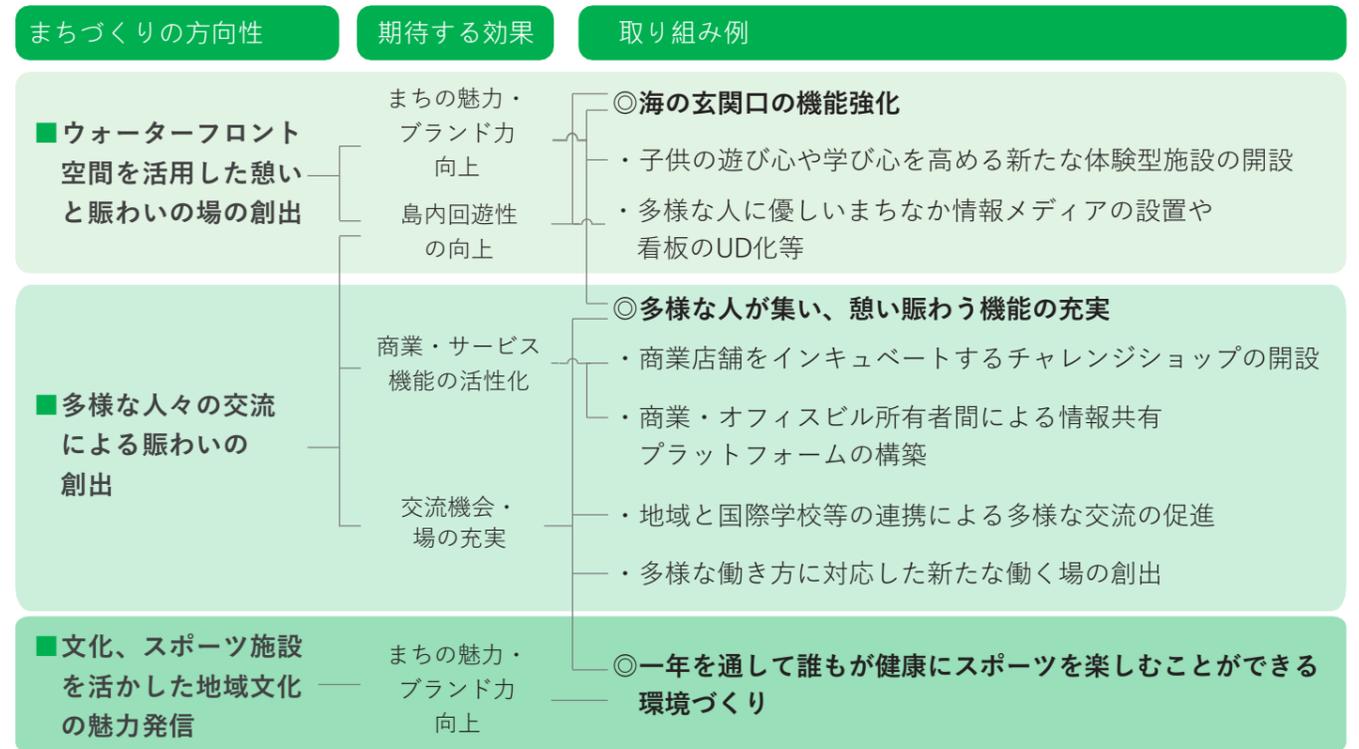
### 「住まう」視点



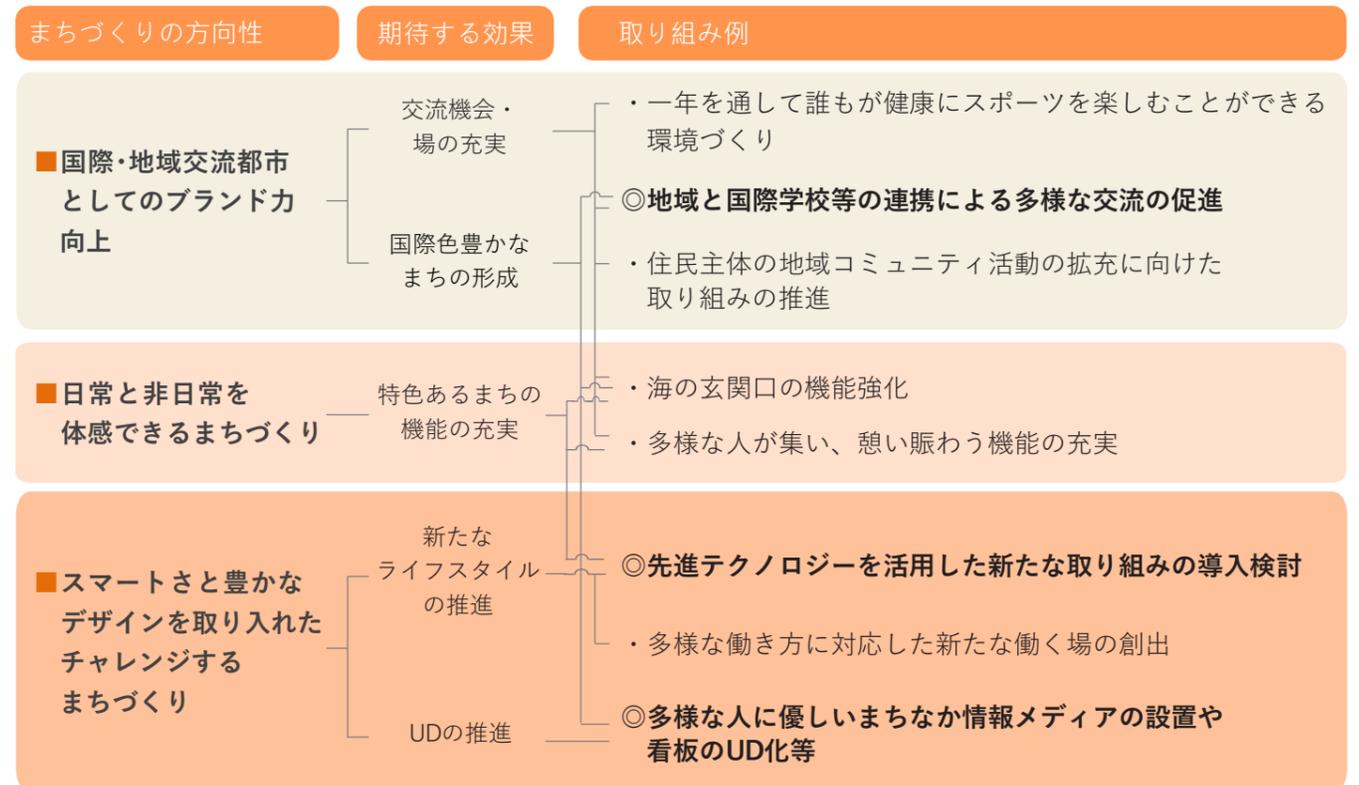
### 「働く」視点



### 「集う」視点



### 「全般的」視点



# 今後のまちづくりの取り組み例

【取り組み例の内容等】



…それぞれの取り組み例について、4つの視点のうち、該当する視点を示しています。

※【実施主体】 ◎：主担当、○：副担当

## 子供の遊び心や学び心を高める新たな体験型施設の開設

住 集 働 全般

屋内外に、未就学児を対象とした施設や、児童・学生等まで幅広い年代が楽しむことができる体験型の施設を設け、子育て環境の充実と賑わいを創出する。



【実施主体】 ◎神戸市：民間事業者の誘致、施設整備 ○住民：運営サポートとして参画  
◎民間事業者：施設整備・運営

## 多様なニーズに対応した住宅供給

住 集 働 全般

子育て世帯・学生向け住宅・高齢者施設・テレワーク対応住宅など、多様なニーズに対応した住宅供給により、六甲アイランドの居住環境の充実を図るとともに、人口の増加を推進する。



【実施主体】 ○神戸市：民間事業者へのヒアリング調査、施設誘致  
◎民間事業者：施設整備、住宅供給

## 地域におけるハウジングマネジメントへの取り組み

住 集 働 全般

街区ごとの良好な住環境の維持・保全や、不動産業者との連携による安定した住宅の市場流通の形成と地域の魅力発信に向けた取り組みを推進する。



【実施主体】 ○神戸市：住民と不動産業者等との体制づくり、地域の魅力発信等  
◎住民：目的と必要性の共有、具体の取り組み検討・実践

## 多様な働き方に対応した新たな働く場の創出

住 集 働 全般

子どもの一時預かりとともに、子供の年齢に合わせた働き方や、時間・場所を有効活用した柔軟な働き方など、多様な働き方に対応した新たな働く場（SOHO機能の強化等）を創出する。



【実施主体】 ◎神戸市：地域ニーズの把握、民間事業者へのヒアリング調査、事業者誘致、社会実験等の実施  
◎民間事業者：新たな働く場の施設整備、運営  
○地域企業：市と連携した取り組みの実践

## 商業・オフィスビル所有者間による情報共有プラットフォーム<sup>(\*)</sup>の構築

住 集 働 全般

地域の生活利便性を向上させる商業施設（ドラッグストア、飲食店等）・医療施設等の誘致や、来街者を集客・もてなす施設の立地を促進するため、島内の商業・オフィスビルの所有者が集まり、一体となった施設誘致に向けた取り組みを進める。

また、各商業テナント等の利用促進を図る取り組みを進める。



※情報共有プラットフォーム：情報共有を図る話し合いの場のこと。

【実施主体】 ◎神戸市：プラットフォームの構築・運営、情報共有  
◎地域企業：情報共有、積極的なテナント誘致

## 商業店舗をインキュベート<sup>(\*)</sup>するチャレンジショップの開設

住 集 働 全般

六甲アイランドの商圈人口を踏まえた商業機能の充実や、新たな商業ビジネスの育成を目的として、新規出店を目指す事業者や住民等を支援するチャレンジショップを開設する。島内での商業展開をやすくするとともに、まちのにぎわい創出や利便性の向上を図る。



※インキュベート：企業や起業家などへの支援・育成のこと。

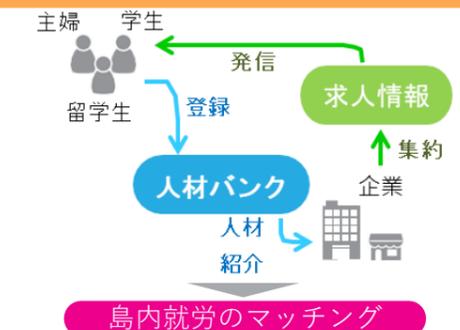
【実施主体】 ◎神戸市：市場調査、民間事業者の誘致、施設整備  
◎地域企業：民間事業者の誘致による空き床の活用  
◎民間事業者：店舗運営  
○住民：店舗運営者・利用者としての参画

## 島内就労と住民・学生ニーズをマッチングする情報発信と人材バンクの構築

住 集 働 全般

地域の企業・店舗等の求人情報（アルバイト・パート・正社員等）を集約し、地域住民や学生が自らのライフスタイルに合わせて、例えば、時間・場所・内容をフレキシブルに選択し働ける機会等を情報発信する。

また、企業・店舗等が地域の労働力（学生・主婦等）を有効に活用できるよう人材バンクを設け、地域ニーズに応じた就労を促進する。



【実施主体】 ◎住民：人材バンクの構築・運用、求人情報の収集・発信  
○神戸市：実用化に向けた調整等

## 住民主体の地域コミュニティ活動の拡充に向けた取り組みの推進

住 集 働 全般

良好な住環境・景観の維持管理や地域の課題解決のため、地域と行政が情報共有やワークショップを通じて、元気な高齢者や学生、外国人居住者等が共生する住民主体の地域コミュニティ活動を推進する。

- 【実施主体】 ◎住民：ワークショップの開催、働き手としての住民の組織づくり  
○地域企業：住民との協働の事業検討、事業実施  
○神戸市：住民組織への委託内容の検討・実施



## 多様な人が集い、憩い賑わう機能の充実

住 集 働 全般

地域住民・就労者や島外からの来街者が、集い・楽しむことができる体験型のレクリエーション施設やウォーターフロントの眺望を活かした賑わい施設（足湯施設、グランピング施設等）、ナイトタイムを楽しむ仕掛け等の充実や文化施設の魅力向上により、まちの集客力向上を目指す。



- 【実施主体】 ◎神戸市：民間事業者へのヒアリング調査、事業者誘致、施設整備、文化施設群の魅力向上等  
◎地域企業：商業的な賑わいの充実、集客イベントの開催・招致  
◎民間事業者：施設整備・運営  
○住民：利用者としての参画、魅力発信

## 海の玄関口の機能強化

住 集 働 全般

大阪・関西万博等の大阪湾ベイエリアの開発や、クルーズ人気を見据え、海上アクセス機能の充実を図り、交通利便性の向上や、身近な非日常体験の仕掛けづくり等、集客施設と一体となった新たな賑わいを創出する。



出典：国土地理院ウェブサイト  
([https://maps.gsi.go.jp/#13/34.680091/135.259301/](https://maps.gsi.go.jp/#13/34.680091/135.259301/&base=std&is=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1))  
地理院タイル（ベースマップ標準地図：小縮尺地図（500万分の1））を加工して神戸市作成

- 【実施主体】 ◎神戸市：海上交通事業者へのヒアリング、事業性の検討、施設整備の検討  
◎民間事業者：海上交通網の整備検討

## 一年を通して誰もが健康にスポーツを楽しむことができる環境づくり

住 集 働 全般

地域住民・就労者や島外からの来街者が、季節を問わずスポーツに親しみながら、競技力の向上や健康づくりにつながる環境づくりを推進する。（INAC神戸との連携等）



- 【実施主体】 ◎神戸市：調査・検討、施設整備、民間事業者の誘致  
◎民間事業者：施設整備、運営  
○地域企業：スポーツ関連施設の充実と魅力発信

## 地域と国際学校等の連携による多様な交流の推進

住 集 働 全般

外国人居住者やインターナショナルスクール、大学等の留学生との日常的な交流を図る機会を創出し、六甲アイランドの国際性とまちの多様性をより推進する。（外国語教室や国際交流イベントの開催等）



- 【実施主体】 ◎地域の国際学校、住民：具体の取り組み検討、実施  
○神戸市：地域主体の取り組みへの啓発・支援

## 多様な人に優しいまちなか情報メディアの設置や看板のUD<sup>(\*)</sup>化等

住 集 働 全般

島内の店舗やスポット等の情報を発信するデジタルサイネージ（多言語対応）の設置や、看板のピクトグラム表示、店舗のキャッシュレス化等により、来街者・外国人・学生等のまちの回遊性向上と地域の文化・スポーツ施設・商業店舗の利用を促進する。



また、若い世代を含め多くの方々が訪れたいくなるように、SNS等の活用による積極的な六甲アイランドの魅力発信を推進する。

※UD：ユニバーサルデザインの略。年齢、性別、文化、身体状況など人々が持つ様々な個性や違いを踏まえた誰もが利用しやすいデザインのこと。

- 【実施主体】 ◎神戸市：施設整備、民間事業者の誘致  
◎民間事業者：企画、施設整備、運用  
○地域企業：施設の充実  
○住民：まちの魅力発信、案内サポート

## 先進テクノロジーを活用した新たな取り組みの導入検討

住 集 働 全般

街中を安全で快適に移動できる自動運転技術やスマートな暮らし等、先進的なテクノロジーの活用を目指した検討を進め、スマートシティに向けた実証実験の実施等により、次世代のまちづくりを推進する。



- 【実施主体】 ◎神戸市：調査、検討、実証実験等  
◎民間事業者：実証実験、事業実施

# 検証のしくみ

本計画を着実に推進していくために、進捗状況や成果を点検・評価し、それを改善して次のステップにフィードバックさせていくよう、PDCA サイクルを用いて管理していきます。

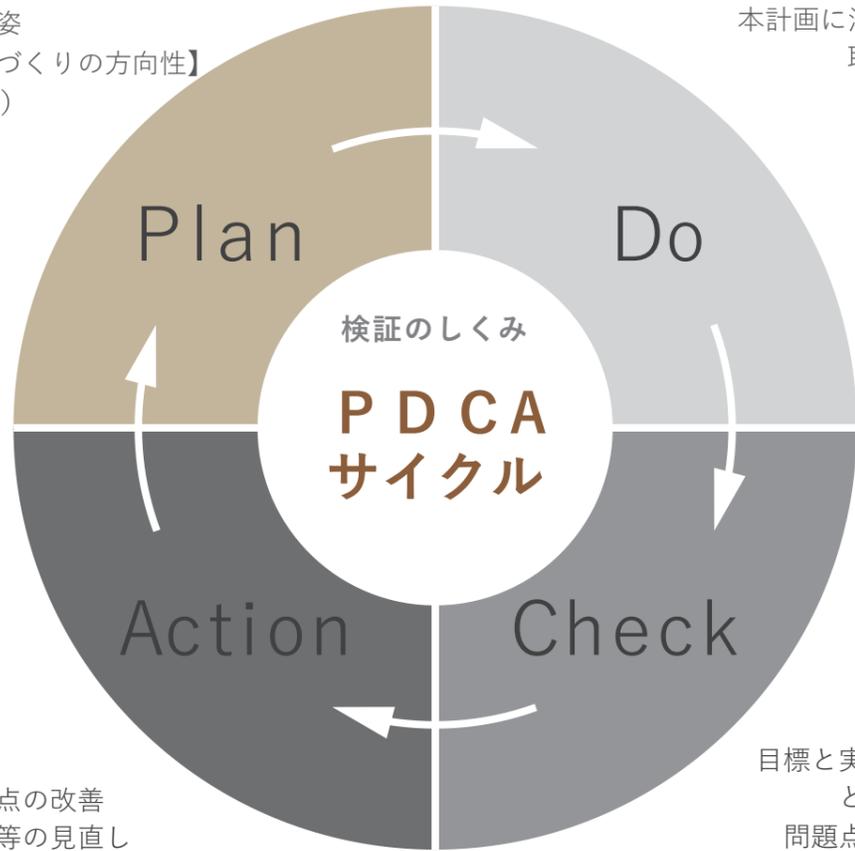
## 【PDCAによる管理イメージ】

### 1 目標を立てる

まちの将来の姿  
【今後のまちづくりの方向性】  
(2021年2月)

### 2 実行する

本計画に沿った具体的な  
取り組みの実施



乖離点、問題点の改善  
取り組み内容等の見直し

目標と実際の取り組み  
との乖離の確認  
問題点、課題の抽出

### 4 改善する

### 3 振り返る

## 検討会

<参加機関> 神戸市、六甲アイランド CITY 自治会、  
まちづくり協議会、地域振興会、など

# 参考①

## 六甲アイランドの まちづくりの経緯と現状

### 【まちづくりの経緯】

#### ■社会的背景

- ・港とともに成長してきた神戸の歴史と、世界の港湾整備の進展
- ・市民生活の高度化・多様化に伴う生活関連施設へのニーズの高まり
- ・既成市街地における住工混在問題など環境改善の必要性の高まり

▶ 港勢拡大や神戸経済の発展、住環境の改善に向け、国際的な業務機能等を持つ多機能型複合都市として六甲アイランドの整備に着手

#### ■当初のまちづくりの特色

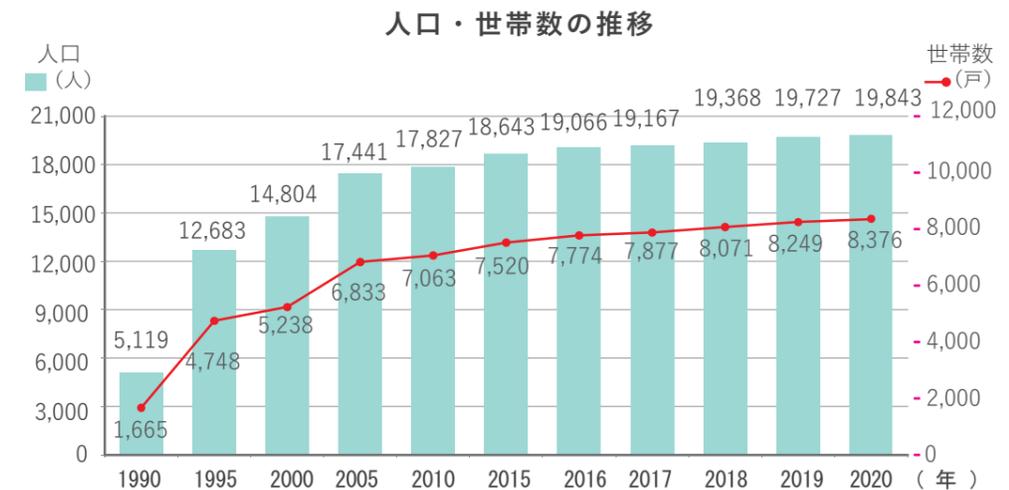
- ・民間事業によるコンペ方式の採用
- ・中核的な施設として、民間の世界ブランドのホテルや国内初のマーケットセンター、外国人マンション、グローバル企業、大型レジャー施設、複合商業施設などを誘致（※現在は、社会情勢の変化等の影響により、一部施設の利用転換や企業の移転等が生じている。）

### 【現 状】

#### ■人口・世帯数の推移

- ・人口・世帯数とも、年々増加傾向
- ・住宅供給戸数は計画値を上回るが、居住人口は計画値に満たない

入居開始 1988.3	
計画	
戸数	人口
8,000戸	30,000人
▼	
現状 (2020.4.1 時点)	
世帯数	供給戸数
8,376世帯	8,724戸
人口	高齢化率
19,843人	20.0%



出典：  
1990年～2015年 国勢調査（各年10月1日時点）  
2016年～2020年 住民基本台帳（各年4月1日時点）

## 参考②

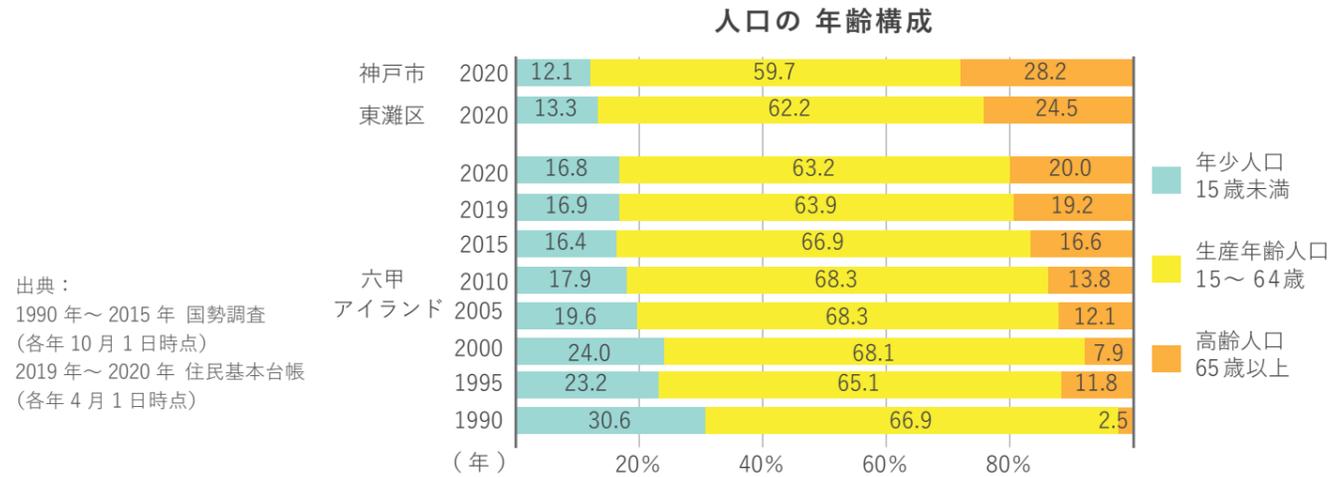
### 今後のまちづくりの方向性の検討手法

検討にあたっては、現状分析手法（SWOT分析）を用いて、六甲アイランドが持つまちの内的要因（強み・弱み）と、取り巻く外的要因（機会・脅威）となる社会経済環境の変化について整理しました。



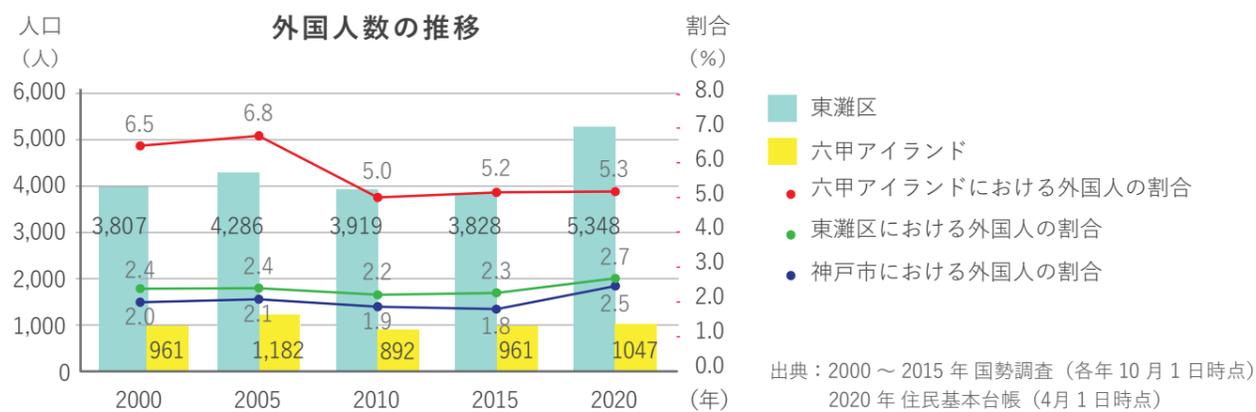
### ■人口の年齢構成

- 六甲アイランドの高齢化は年々進展傾向にあるものの、神戸市全体・東灘区全体と比べてその割合は低い（年少人口の比率は高い）



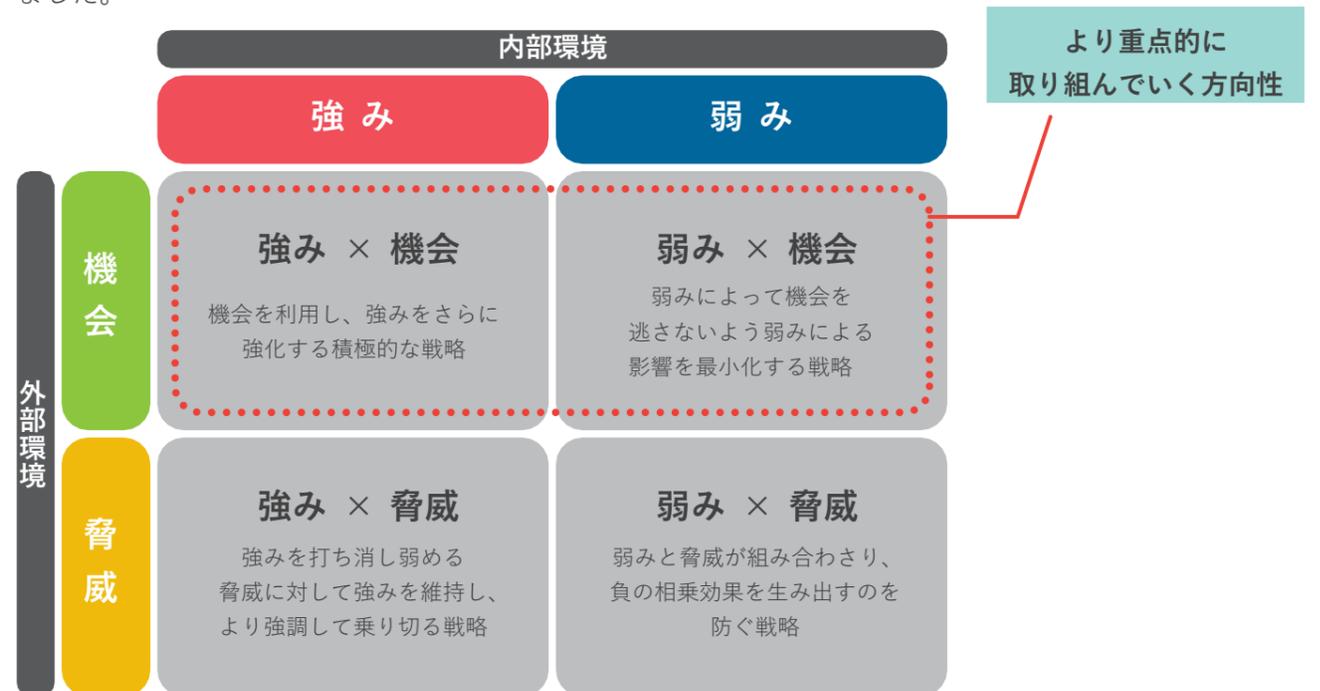
### ■六甲アイランドの外国人数の推移

- 六甲アイランドの外国人居住者は2020年現在、約1,000人で、居住者数はほぼ横ばい
- 島内人口に占める外国人居住者の割合（約5.3%）は、神戸市全体、東灘区全体と比較しても高い



SWOT分析により整理した、六甲アイランドの特性（強み・弱み）と周辺を取り巻く環境（機会・脅威）及びアンケート調査結果から得られた地域ニーズを組み合わせ、今後、取り組むべき「まちづくりの方向性」を導き出しました。（クロスSWOT分析）

なお、検討にあたっては、今後のまちづくりの方向性を「住まう」「集う」「働く」「全般的」の4つの視点について整理し、その中でも特に、『機会』を利用し『強み』をさらに強化する積極的な戦略と、『機会』を逃さないよう『弱み』による影響を最小化する戦略を、重点的に力を入れていくべき「まちづくりの方向性」としました。



## 参考③

### 今後のまちづくりの方向性の検討背景

今後のまちづくりの方向性は、前項で示した分析と、地域ニーズ（住民アンケート調査結果等）や統計データ等による分析結果を踏まえて導き出しました。

以下に、視点毎に整理した地域ニーズと統計データ等による分析結果を示します。

#### 『住まう視点』

- ・子育て環境を充実させて欲しい
- ・閑静な住宅街と商業空間を兼ね備えた街になってほしい
- ・日常の買い物施設、飲食店等を充実させてほしい
- ・医療、福祉施設がほしい
- ・年齢構成が多様で、バランスが良い（40歳代までの人口が全体の6割弱）
- ・若年層の流入が多いことに加え、シニア層のマンション需要が一定存在する
- ・日常の買い物にJR住吉駅を活用する人が多い
- ・現在も人口は増加基調
- ・製造、業務、商業など、多様な職と住の近接

#### 『集う視点』

- ・国内外から多様な人が集まって交流するまちになってほしい
- ・気軽にお酒や料理を楽しむことができる飲食店がほしい
- ・スポーツ施設、アウトドア施設を充実させてほしい
- ・地域の様々な人が共に楽しめるイベントがあればいい
- ・大阪湾ベイエリアの活況（万博、IR構想）
- ・広域からの集客力は不足しているが、文化施設利用者は一定ある（多様な美術館の存在）
- ・六甲アイランド内のホテルに滞在する外国人が多い
- ・外国人と親和性の高い土壌がある

#### 『働く視点』

- ・大型事業所が多く、小型の事業所が少ない、神戸ファッションマートにインキュベート機能がある
  - ・40～50代の主婦の就業率が高い
  - ・昼夜間人口比率が高い
  - ・インターナショナルスクールが複数あり、外国人の留学生も多い
  - ・勤務地は大阪が多い
  - ・製造、業務、商業、サービスなど多様な働く場がある
  - ・コミュニティ活動が活発
- <インキュベーション入居企業のニーズ>
- ・入居企業同士の交流や情報交換の場がほしい
  - ・子育て世代の女性の働き場がほしい
  - ・就労外国人が住みやすい環境づくりが必要（シェアハウスなど）

#### 『全般的視点』

- ・先進的な技術を取り入れた交通機能等を充実させてほしい
- ・外国人との交流による多様なまちづくりを進めてほしい
- ・外国人比率は高いが、“異国情緒あるまち”としては不十分なように感じる
- ・シティホテルやリバーモール、地域の多様なイベントの開催など、六甲アイランドならではのまちなみがある
- ・環境と景観、技術革新などに配慮するまちづくりを先駆けて実践

## 参考④

### 六甲アイランドまちの将来の姿（案）に対する意見募集結果 概要版

まちの将来の姿の策定にあたり、検討会における議論を踏まえて取り纏めた「まちの将来の姿（案）」に対する意見募集手続き（令和2年8月7日～9月7日）を実施しましたが、主な意見について以下のとおり整理しました。（意見数：127通、総件数：398件）

頂いたご意見のうち、コロナの影響に関するご意見がありました。この点につきましては、「まちの将来の姿」に示した取り組み例の中に、今後のライフスタイルの変化にも対応しながら取り組むべき内容も含まれています。今後、具体的な取り組みを進めるにあたっては、コロナの影響等による社会情勢変化にも柔軟に対応しながら、必要に応じて「まちの将来の姿」の見直し等も検証していきます。また、防災の観点については、まちづくりの基盤として取り組むべき内容であるため、今回の検討では含めていませんが、今後も引き続き、安全・安心なまちづくりを進めるため、必要な防災対策等を講じていきます。

なお、六甲ライナー等の交通アクセスに関しては、市の交通施策の一環として検討すべき内容でもあるため、今後の検討課題として参考にさせていただきます。

#### 1. まちの将来の姿（案）に関する意見について（23件）

- ・新型コロナによる社会的ニーズの変化も取り入れるべきではないか。
- ・防災に関する観点が無い。
- ・「住まう」視点の期待する効果に「島外へのアクセスに経済的・心理的負担を感じない」を追記すべき。
- ・「子育てしやすく、スポーツに親しめる街」「帰ってきたくなる街」というはっきりしたコンセプトを打ち出し、官民が一体となって盛り上げていく必要がある。
- ・この将来の姿に沿った街づくりを目指して、地元と行政の間で情報・アイデア交換、進捗状況説明などを進められるよう、検討会＝（仮称）推進委員会などを立ち上げてほしい。
- ・市として施策の一貫性を持たせるために、「神戸港将来構想」との関連性を含めた施策の継続性の検証が必要。

#### 2. 今後のまちづくりの方向性や取り組み例に関する意見について（217件）

##### 【商業・賑わい】

- ・生活便利施設や娯楽施設の充実（ドラッグストア、ホームセンター、飲食店、カラオケなど）
- ・ウォーターフロント空間の活用（グランピング施設、ドライブインシアター、砂浜ビーチなど）
- ・神戸ファッションプラザ等の有効活用（活気あるビルへの活用、ホテル・オフィス・学校の誘致など）

##### 【住環境・地域コミュニティ】

- ・新たなマンション供給等（高層タワーマンション、シェアハウス、テレワーク対応住宅など）
- ・リバーモールの活用（足湯施設の整備、イベントの更なる開催など）
- ・多様な人のまちづくりへの参画（まちづくりWorkshopの開催、まちづくりの意見を述べる場の提供など）

##### 【子育て・医療・福祉】

- ・子育て環境（子育て世代をコアにしたまちづくり、就学前（5歳）まで通える保育園の整備など）
- ・個人医院の誘致（眼科、耳鼻科、皮膚科、産婦人科（分娩可）など）
- ・高齢者の住環境（高齢者をコアにしたまちづくり、高齢者サービスの拡充など）

##### 【文化・スポーツ】

- ・INAC神戸との連携（選手等との交流、イベント開催、拠点整備など）
- ・アートによるまちづくり（ウォールアート、絵画コンテスト、個人博物館など）
- ・スポーツイベントの開催（マラソン大会、サイクルレースなど）

##### 【公共施設・交通】

- ・案内看板の設置（まちの案内板の設置（多言語対応）、駐車場位置看板の設置など）
- ・海の玄関口の機能強化（ベイシャトルの復活、関西万博への新航路設置など）
- ・島内交通手段の充実（無料レンタサイクル、有料エレクトリックスクーターなど）

##### 【ワークスタイル】

- ・就業環境の整備（Afterコロナに対応できるSOHOスペース、テレワーク対応のレンタルオフィスなど）
- ・就業機会の創出（スキルシェアサイトの設置、人材バンク機能の確保など）
- ・新たなビジネスの育成（インキュベーションセンターの設置、ローカルブランド商品の開発・販売など）

##### 【その他】

- ・先進テクノロジー等の活用（100%再生可能エネルギー都市の実現、モノ搬送実証実験など）
- ・スマートシティ等への取り組み（スマートシティ・コンパクトシティ実証実験、姉妹都市とのSmart連携など）
- ・自動運転等の導入（MaaS導入・実証実験、自動運転インフラの整備など）

#### 3. その他（まちの課題や要望など）（158件）

##### 【公共施設・交通】

- ・六甲ライナーやバスの運賃について（値下げ、島民割引等の検討など）
- ・歩道、道路の維持管理について（歩道・道路の凹凸部補修、雑草の手入れなど）
- ・公共施設や公的機関等の設置（市役所等の分庁舎、期日前投票所、図書館など）

##### 【住環境・地域コミュニティ】

- ・害虫駆除（ゴキブリ等）の実施
- ・マリナーパークの活用（海釣り公園化、海水プール、移動式ショップの区画設置など）
- ・防災対策の強化（島外との連絡強化（橋・道路の増設、マリーナ（船）の整備）、防潮堤の計画的整備やライフラインのバックアップ確保など）

##### 【商業・賑わい】

- ・宅配サービスのエリア拡大（六甲アイランドを宅配エリアに追加）

##### 【医療】

- ・六甲アイランド甲南病院について（救急対応の再開、病院の機能維持など）

##### 【文化・スポーツ】

- ・ウォーキングコース等への施設整備（運動器具の充実、簡易シャワー施設など）

##### 【意見募集について】

- ・周知方法の工夫について（QRコードの活用など）
- ・意見募集手続きの進捗状況の周知など

##### 【将来像検討会について】

- ・検討会委員の構成について（女性・若者・外国人居住者の登用など）

※ 意見募集結果 神戸市HP (<https://www.city.kobe.lg.jp/a26136/20201222.html>)

# 検討の経緯

## 検討会

2018年7月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「六甲アイランドまちの将来像検討会」の設置</li> <li>■ 第1回六甲アイランドまちの将来像検討会             <ul style="list-style-type: none"> <li>【議題】・まちづくりの経緯と現状について</li> <li>・検討の方向性について</li> </ul> </li> </ul>
10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第2回六甲アイランドまちの将来像検討会             <ul style="list-style-type: none"> <li>【議題】・六甲アイランド諸データに基づく戦略分析</li> <li>・ゲストスピーカー（六甲アイランドのまちづくりについて）</li> </ul> </li> </ul>
2019年2月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住民アンケート調査（～3月7日）</li> </ul>
3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第3回六甲アイランドまちの将来像検討会             <ul style="list-style-type: none"> <li>【議題】・住民アンケートの結果について</li> <li>・六甲アイランド諸データに基づくマッピング分析について</li> </ul> </li> </ul>
7月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第4回六甲アイランドまちの将来像検討会             <ul style="list-style-type: none"> <li>【議題】・六甲アイランドのインキュベーション等の現状について</li> <li>・まちづくり戦略を踏まえた今後の取り組みの方向性について</li> </ul> </li> </ul>
12月2日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第5回六甲アイランドまちの将来像検討会             <ul style="list-style-type: none"> <li>【議題】・具体の取り組みについて</li> </ul> </li> </ul>
2020年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第6回六甲アイランドまちの将来像検討会             <ul style="list-style-type: none"> <li>【議題】・六甲アイランドまちの将来の姿</li> <li>【今後のまちづくりの方向性】（素案）について</li> </ul> </li> </ul>
8月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「六甲アイランドまちの将来の姿（案）」意見募集手続き（～9月7日）</li> </ul>
2021年1月～2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 意見募集結果を踏まえた検討会委員への意見聴取</li> </ul>
2月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 意見募集結果の公表</li> <li>■ 「六甲アイランドまちの将来の姿」とりまとめ</li> </ul>

## 委員

	氏名	所属・役職
学識経験者	安田 丑作	神戸大学 名誉教授
	西村 順二	甲南大学経営学部 教授
	道谷 卓	姫路獨協大学 副学長
地域	實光 良夫	六甲アイランド CITY 自治会 会長
	高橋 松夫	六甲アイランドまちづくり協議会 委員長
	松本 浩之	六甲アイランド地域振興会 代表幹事（～2019.6.30）
	前田 烈	同上（2019.7.1～）
市会	山本 孝子	東灘区連合婦人会 会長
	安井 俊彦	東灘区選出議員団 自由民主党
	交通	山川 浩司
行政	茨木 修	同上（2019.4.1～）
	辻 英之	神戸市港湾局長（旧みなと総局長）
	今西 正男	神戸市都市局長（2019.4.1～）
	小原 一徳	神戸市経済観光局長（～2019.3.31）
	山本 泰生	同上（2019.4.1～）
	稜野 敦雄	神戸市東灘区長（～2019.3.31）
	金谷 勇一	同上（2019.4.1～）